

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
643 生涯学習推進事業（生涯学習推進協議会、生涯学習推進員、生涯学習人材バンク登録、家庭教育の支援など）

[長期総合計画]

分野別目標	2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5 郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1 生涯学習の推進
取組方針	1 生涯学習の啓発と機会の提供

事業種別	継続
事業期間	永年 ~
事業実施の根拠法令	
関連個別計画	
担当課・担当課長（Tel）	生涯学習課 加藤 裕晃（435-1138）
関連課	全ての課

[事業基本情報]

事業区分(1) 会計・予算区分	事業経費	○	管理経費	
	その他			
	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
	会計		一般会計	
	款		教育費	
項目			社会教育費	
目			生涯学習振興費	
大事業			生涯学習振興事業	
事項			生涯学習推進事業	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容			
		生涯学習を総合行政としてとらえ、生涯学習の推進を図るため推進員研修会を開催する。生涯学習推進協議会を設置し、生涯学習の推進についてその方策やその他生涯学習に対して協議する。			
実施内容	平成26年度 ・生涯学習推進協議会の開催 ・生涯学習推進員研修会の開催 ・生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等） ・生涯学習セミナーの開催	平成27年度 ・生涯学習推進協議会の開催 ・生涯学習推進員研修会の開催 ・生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等） ・生涯学習セミナーの開催 ・生涯学習推進計画の策定	平成28年度 ・生涯学習推進協議会の開催 ・生涯学習推進員研修会の開催 ・生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等） ・生涯学習推進計画の策定	平成29年度 ・生涯学習推進協議会の開催 ・生涯学習推進員研修会の開催 ・生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等） ・生涯学習推進計画の策定 ・家庭教育支援事業の実施	平成30年度 ・生涯学習推進協議会の開催 ・生涯学習推進員研修会の開催 ・生涯学習情報の収集・提供（行事・人材バンク情報等） ・生涯学習推進計画の策定 ・家庭教育支援事業の実施

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,398	972	1,378	1,101	1,587	1,140	2,592		2,592	
伸び率（%）	-	-	▲1.4%	13.3%	15.2%	3.5%	63.3%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員 正規職員以外 小計	3,487 837 4,324	4,077 837 4,914	4,093 837 4,930	8,120 8,120 8,120	4,993 445 4,993	6,316 445 6,761		6,316 445 6,761	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	1,398	972	1,378	1,101	1,587	1,140	2,592		2,592	
所要人数（人）	正規職員 正規職員以外	0.46 0.40	0.54 0.40	0.54 0.40	1.07	1.07	0.63	0.79	0.79	0.08
主な予算内訳	附属機関委員報酬 360千円、消耗品402千円、印刷製本費 1,054千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	生涯学習推進協議会開催回数	回	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	生涯学習人材バンク登録者数	人	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%						
成果指標	生涯学習推進協議会参加委員数（23人×2回）	人	40.0%	71.7%	89.1%							
	生涯学習推進員研修参加者数	人	83.7%	81.3%	84.6%							

4 事業の評価

評価基準				
【妥当性】事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい
【妥当性】事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
【妥当性】官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
【妥当性】緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
【有効性】更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
【有効性】成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)
【有効性】上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
【効率性】事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
【効率性】受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の 方向性	充実			
	現状維持		○	
	縮小			
	廃止			
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	生涯学習推進員研修会を通して啓発を行い、生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図る
見直し・改善内容	「第3次和歌山市生涯学習基本構想及び基本計画」の策定が重要目標である。